

話 題

総合病院精神医学について

千葉北総病院メンタルヘルスクリニック

黒澤 尚

はじめに

日本総合病院精神医学会が設立されてから十年の年月が流れている。それにも関わらず、精神科以外の領域の先生方には「なにをやる学会」などと疑問の声も時に聞かれる。そこで、ここでは総合病院精神医学、総合病院精神医療、日本総合病院精神医学会の姿勢などについて述べる。

総合病院精神医学について：精神医療を提供する窓口は精神病院、精神科診療所、総合病院精神科がある。この総合病院精神科で行われる医療に関係した学問の総称が総合病院精神医学である。ただ、法律が改正され総合病院という名称がなくなったが、英語にも General Hospital Psychiatry という言葉もあり、とりあえずは総合病院精神科を「総合医療を提供する一般病院に併設された精神科（金子晃一による）」と定義し、総合病院精神医学という言葉を残させている。さて、従来から精神医学というとややもすると精神分裂病や躁うつ病、そして単科精神病院での医療を思い浮かべる人たちも多いと思われる。現状ではこれらの問題が精神医療の中心になっているのもやむを得ない。しかし、本来の精神学の範疇からすればこの項で述べる総合病院精神医学も重要な分野なのである。それにもかかわらず、わが国ではこの分野はこれまで重要視されていなかった。そこで、この分野を充実させるべく日本総合病院精神医学会が設立されたのである。中には、総合病院精神医学が充実すると単科精神病院から患者が流れてしまうのではないかと危惧を抱く方もいらっしゃると思う。それは大きな間違いであって、単科精神病院が対象としている疾患とは大きな違いがあり、むしろこれまで精神科が無視していた分野を掘り起こし、精神科患者層の範囲を広げているのに役立っている。したがって、総合病院精神科が充実すれば、当然単科精神病院の患者数も増えるものと信じている。

総合病院精神医療：総合病院精神科の形態が一定ではないので、50床以上の精神科病床やいわゆる措置ベッドを持つ病院を除く総合病院精神科には以下のような役割がある。これらの役割はすべての施設が持っている、あるいは持たなければいけないというわけではない。実際にはそのいくつかを持って精神医療に当たっている。

i) いわゆる sofat psychiatry：ストレスによる精神症状、心身症、神経症、うつ病などの治療。

ii) リエゾン精神医療：身体科で治療を受けている患者の精神症状への対応など。

iii) 精神科合併症医療：精神疾患に罹患している患者の身体症状の治療。

iv) 卒後教育：身体科の医師に対する卒後教育。

v) 精神科救急：精神科救急の対応別分類によれば1次、2次の患者が対象。

vi) 急性期精神医療：精神疾患の急性期の医療を行う。

日本総合病院精神医学会の姿勢：日本総合病院精神医学会の設立母体となったのは General Hospital Psychiatry 研究会である（会長 黒澤 尚）。この研究会は1984年に関東地区のリエゾン精神医学に関心を持つ精神科医が集まり、現在も年2回開催されている。ここでの経験から、精神医学界はリエゾンのみならず精神科全般でも治療を中心とした文献が少なく、治療を中心とした臨床研究がこれまでのわが国のいわゆる学術的な雰囲気になじんでおらず、医療の枠組みの中で、自分たち精神科医がどのような位置にあるかについて関心がないなどの諸点が認識されるに至った。そこで、治療を主とした臨床研究も学問として認めさせ、さらには自分たち精神科医をとりまく状況を認識するの必要性を感じた。

1988年にこの会の出席者の発案で、リエゾンだけでなく総合病院に勤務する精神科医が抱える問題を解決すべく「右手に学問を左手に精神科医の地位の向上」をスローガンに日本総合病院精神医学会を設立した。なお、会則では本学会の目的には「第2章 目的および事業 第3条本学会は総合病院精神医学に関心を持つ医療従事者が集まり、種々の問題について本音で話し合うとともに総合病院における精神医療の向上を図ることを目的とする」とあり、このように本学会は表面的な討論でなく泥臭くても本音での討論を望んでいるのである。

現在では、黒澤 尚理事長のもと会員は約1100名、学会参加者は約350名であり、活発に活動している学会である。学会誌を年3回、ニュー・スレタ - を年2回発行している。また、ホームページ（<http://www2.meshnet.or.jp/~jsghp/>）も開いている。

対外的には精神科七者懇談会、精神保健従事者団体懇談会の会員であり、医療費改正、精神保健福祉法や医療法の改正などに取り組むほか、国の種々の委員会にも参加している。

今後は総合病院精神医療の充実のためにも「右手に学問を左手に精神科医の地位の向上」をスロ - ガンに活動してゆく。

以上、簡単に総合病院精神医学、総合病院精神医療、総合病院の現状、日本総合病院精神医学会の姿勢などについて述べた。

(受付：1999年1月8日)

(受理：1999年1月9日)